

平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	都立若葉総合高等学校 全日課程			進路実績	4年制大学	45%	短期大学	11%	専門学校	33%	就職	6%	その他	5%				
	原石を宝石に、君の個性に輝きを！			進路特徴	充実したキャリア教育に基づく明確な目的意識を持った進路実現													
基	所在地			〒206-0822 稲城市坂浜1434番地3	電話番号	042-350-0300												
	アクセス			(1)京王相模原線 若葉台駅下車 徒歩約10分 (2)小田急多摩線 黒川駅下車 徒歩約15分														
本	学 科			総合学科														
	在 籍 数			709人(男子189人、女子520人)														
情	教育課程の特徴			自己の進路にあわせた多様な少人数の選択科目を多数設置、「産業社会と人間」と「総合的な学習の時間(マイ・プロジェクト)」で充実したキャリア教育に取り組ませる。														
	ホームページ			http://www.wakabasogo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 29年度(単位:万円)	2,673											
報	その他			ゆめナビプロジェクト研究校、 スポーツ特別強化校 オリンピック・パラリンピック教育推進校		校 服	制服	男子 ブレザー(紺) 女子 ブレザー(紺)										
	募集人員			推薦:72人、一般:164人 (いずれも男女問わず)														
本	入 学 者 選 抜 情 報			27年度入学生	推薦	男女	2.83		28年度入学生	推薦	男女	2.97		29年度入学生	推薦	男女	2.79	
	学 生	選 抜	情 報			学 力 検 査	男女	1.38			学 力 検 査	男女	1.54			学 力 検 査	男女	1.51
その 他 の 特 徴				文化・スポーツ等特別推薦(剣道:男女問わず4名、陸上競技(中・長距離):男女問わず6名、男子バスケットボール:4名、女子サッカー:4名)														
主な学校行事			新入生キャンプ(4月),体育祭(6月),文化祭(9月),修学旅行(2年),マイ・プロジェクトⅠ,Ⅱ発表会(2,3年)															
目指す学校				(1)生徒一人ひとりが、学力の確実な定着と体験的、実践的な学習活動を通じて自己の進路を開拓し、実現することができる学校 (2)生徒相互が個性を尊重し合い、自分に誇りを持ち、社会における義務や責任の大切さを学ぶ学校 (3)地域に開かれ、地域に根ざし、中高大の学校間連携を密にする学校														
今年度の重点目標				今年度の取組と自己評価														
目 標 ①	規範意識の醸成 SNS利用モラル向上を目指し、集団活動を通して望ましい人間関係の構築、協調性や協働意識をはぐくむ指導を推進し、人間関係形成能力やコミュニケーション能力の向上を図る。また、新入生を主対象として生徒一人一部加入指導を促進し、部活動の参加率の一層の向上と活動内容の質の向上に努める。			・各学期の始業式・終業式、年度末の修了式、定期考査期間、月間の登校前指導(立ち番)などで年間の指導日を設定し、指導の強化・徹底を図り、規律やマナーの遵守、挨拶等の指導を実施した。引き続き、全教員による日々の声掛け指導の徹底を図ることが課題である。 ・SNSを使用した他者への誹謗・中傷などによる人間関係のトラブルに起因する特別指導案件が発生した。インターネット環境の適切な利用、対人関係における直接的なコミュニケーション能力の向上に関する指導の更なる強化が課題である。														
目 標 ②	生徒の多様な希望進路実現を図る 総合学科高校の特色を生かし、生徒の進路実現に向けて、AO入試・推薦ゼミや論文指導・面接指導、一般入試対策指導、大学入試センター試験対応のための進学対策指導や就職対策指導などを、学年担当や教科担当と連携し計画的かつ組織的な指導の充実を図る。			・1年次「マイライフプラン発表会」3月実施、2年次「マイプロジェクトⅠ中間発表会」2月実施、3年次「マイプロジェクトⅡ発表会」12月実施し、計画的・継続的なキャリア教育を推進した。 ・今年度の進路決定率は3月末時点で94.8%であった。また、大学・短大進学率46%、専門学校等が40%となった。指定校推薦・一般公募推薦・AO入試・一般受験等様々な受験形態に対応した指導の更なる充実が課題である。														
目 標 ③	基礎学力の向上 放課後の自習や個別指導などにおける自習室の効果的な活用を図る。さらに、長期休業日中の講習等を計画的に実施し、生徒への学習指導の強化に努めるとともに、生徒の基礎学力の向上を図る。			・年間を通して、モーニングワーク(朝学習)により生徒に学習習慣を身に付けさせる環境づくりに努めた。また、授業内容とオンライン学習サービス利用を関連付け、基礎学力の定着を図り、放課後等の自習や教科外の学習及びオンライン学習サービス利用を推進した。また、到達度テストの分析を受け、英語や数学などの授業では、生徒の苦手克服に向けた教材の提供などを行うことができた。 ・長期休業日中の講習については、年間40講座547時間を計画的に実施し、生徒への学習指導の強化に努めた。日常的な個別指導を充実させるため自習室の効果的な活用を図ることが課題である。														
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容			26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度				
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標				
	目標①	関東大会レベル以上の大会に出場する部活動数2部以上を目指す。			3	2	3	3	2	2	2	3	2	2	2			
	目標②	卒業学年生徒の進路実現(決定率)90%以上を目指す。			90	90	90	94	90	94	90	95	90	90	90			
目標③	生徒・保護者学校満足度90%以上を目指す。			95	94	95	91	90	93	90	91	90	90	90				